

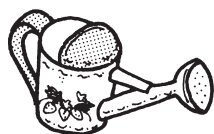
すみよし

第 6 8 号

発行所 社会福祉法人 一 寿 会
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6
 電話 022-379-8030
 発行者 理事長 関 野 愉

- 住吉台こども園
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-0164
- 仙萩苑 (障害者支援施設)
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-8030
- 一寿園 (就労継続支援B型事業)
 仙台市太白区富田字南ノ西26番地 TEL(022)243-3447
- 長命ヶ丘つくしこども園
 仙台市泉区长命ヶ丘三丁目20番10 TEL(022)772-0035
- 名取みたぞのこども園
 名取市美田園五丁目3番地5 TEL(022)784-1020
- 名取あけぼのこども園
 名取市増田六丁目1番40号 TEL(022)382-2711

印刷 令和6年10月29日
 発行 令和6年10月31日



■ 長命ヶ丘つくしこども園 (p3~4)

■ 住吉台こども園 (p2~p3)

- ・プール開き誕生会
- ・とうもろこしの皮むき
- ・クラス活動



■ 長命ヶ丘つくしこども園

(p3~p4)

- ・夏祭り
- ・日中活動「金魚すくい」



■ 名取みたぞのこども園

(p4~p5)

- ・サンドウィッチ作り
- ・水遊び



■ 名取あけぼのこども園

(p5~p6)

- ・七夕誕生会
- ・お泊り保育
- ・プール納会



■ 仙萩苑

(p7)

- ・夏祭り
- ・賀寿の会



■ 一寿園

(p8)

- ・健康診断



住吉台こども園

プール開き誕生会



六月二十五日にプール開き誕生会がありました。保育教諭がプールの遊び方や約束事をベープサートで説明し、問題を出すと「走らない!」「押さない!」など、元気よく答えてくれる姿が見られました。天気の良い日には「今日はプール入れるかな?」とプール遊びを楽しみにしているようでした。三歳未満児クラスではプールの準備をするワクワクしながら水着に着替えることができました。初めはプールに

戸惑う子どももいましたが、楽しく遊ぶ友だちの様子を見て、少しずつ興味を持ち、バケツに水を入れたり、手で水をバシャバシャとさせたりしながら楽しむ姿が見られました。保育教諭がホースの水を噴水にしたり、バケツで体に優しく水を掛けたりすると「キャー!」と言って大喜び。「冷たいね」「気持ちいいね」と友だちや保育教諭と気持ち共有していました。水遊びが終わり着替えると「楽しかった」とこりと満足した表情を見せてくれました。水遊びを通して夏の遊びを存分に楽しむことができました。来年も水遊び等を通して夏の遊びを楽しむことができましたらいいなと思います。

(保育教諭 相澤 菜々)



7月25日の皮むき



七月二十五日に三歳以上児対象の食育「とうもろこしの皮むき」を行いました。初めに保育教諭から夏野菜のシルエットクイズと、とうもろこしについてのお話をしてもらいました。子どもたちは野菜の形について良く分かっているようで、楽しみながらクイズに答えていました。また、とうもろこしの髭の数と、粒の数が同じこと、六百粒もあることを学んでいました。髭の色が茶色い方が美味しいことを覚えたので、家庭でとうもろこしについて話題にしてもらえればいいなと思いました。次に栄養士からむき方の説明を行いました。バナナの皮をむくようにすることを伝え、手洗いの仕方もしっかり確認して、とうもろこしの皮むきを始めました。三歳児はまだ力が弱く、硬い皮をむくのには苦戦する姿も見られましたが、保育教諭に少し手伝ってもらいながらむくことができました。四歳児と五歳児クラスは去年や一昨年の経験もある為、皮を数枚重ねても力強くむいていって、黄色い実が見えてくると嬉しそうに「見えてきたよ!」「わあー」と声をあげていました。

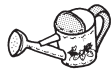


少しイガイガする皮や、ふわふわしている髭の感触も楽しみながら、楽しく活動を終えました。午後のおやつでは、茹でたとうもろこしを喜んで食べる姿が見られました。「甘い」「美味しい」との声が聞こえてきました。自分で皮をむいたとうもろこしは格別だったようで、日頃お替りをしない子が、お替りをしていました。今後も食育活動を通して、食に興味を持ち、食べることが好きになるように働きかけていきたいと思います。(栄養士 梨原 千春)

クラス活動



毎日暑い日々が続いています。子どもたちは元気でとっもパワフルです。くま組さんはプール遊びが大好きで、三歳以上児になって初めてのプールは大きくてドキドキワクワク。とても楽しみにしていました。入る前には、みんなでお約束事をしっかり確認し、水温や水位にも十分注意してから保育教諭が数名で監視を行い、子どもたちが安全に楽しく遊べるように見守っています。並んでプールの中に入ったらず、まずは全員が入るまで座って待つことや、お友だちのお顔には、お水をかけないなど、お約束をしっかりと守っています。保育教諭と子どもたち



の水の掛け合いは「キャー！」と歓声を上げながら、ダイナミックでとっても楽しいです。先日は小さなお魚の玩具を入れて、バケツを持って金魚すくいをしました。水の中をプカプカと動く金魚の玩具をみんなで追いかけて、何匹採れたか競争でした。たくさん採れた子は、少なかったお友だちのバケツを見て「これあげるよ」と分けてくれる姿も見られ、お友だちとのやり取りを、とても温かい気持ちで見ることができました。プールで遊んだ後は「お腹空いた！今日の給食は何だろうね！」と給食を楽しみにしていて、モリモリご飯を食べています。たくさん遊んでたくさん寝て、楽しい夏の思い出を作りたいと思います。

(保育教諭 横山 純子)

長命ヶ丘つくしこども園

夏祭り



七月二十日に、第四回目となる夏祭りが行われました。今年度はお父さんお母さんだけでなく祖父母の方や兄弟の参加も見られ、皆で夏祭りを楽しむ姿が見られました。0歳児と一歳児は保護者と一緒に練り歩きを行い、二歳児クラスは子どもたちだけで練り歩き紐を持ち、三歳以上児クラスはそれぞれ自分たちでお神輿を担いで入場し、夏祭りが始まりました。暑い中でしたが、子どもたちは笛の音に合わせて「ワッショイ」と元気良く声を出して盛り上げていました。色んな保育室で行われているコーナー遊びでは、かわいいキャラクターのお面作り、金魚すくい、たこ焼きビンゴゲーム等をして、



職員の見るコーナーではタングラムシアターやダンスショーなどを親子や友だちと一緒に楽しんで回る姿が見られ、一時間のコーナー遊びはあっという間でした。最後は全園児で園庭に集まり、エンディングの「ドラえもん音頭」と「エビカニクス音頭」を親子で踊り、夏祭りは終了となりました。今年度初めての大きな行事でしたが、今後も親子参加の行事を通して子どもたちの姿を見て頂き、共に成長を喜び合える時間となるよう日々の保育を大切にしていきたいと思っています。

(保育教諭 針生 恵理)

※タングラムシアターとは？

図形片を組み合わせていろいろな形を作る「タングラム」というパズルを応用した、楽しいシアター。

日中活動「金魚すくい」

七月二十五日に二歳児クラスで金魚すくいをしました。「きんぎょがにげた」の絵本に興味を持ち始めたので、子どもたちと一緒に楽しめる遊びを計画しました。初めに大きな水色の模造紙を池に見立ててテーブルや窓、床など保育室の様々な場所に貼り、ペンやクレヨンを使ったり、シール等を貼ったりして模様を付けていきました。いろんな場所に貼られた紙に描こうと様々な体勢で集中してダイナミックに描いていました。好きな色を重ねて「にじみたい」と色の変化に気付きながら嬉しそうに塗っている姿が見られました。次に完成した池の絵や保育教諭が赤い花紙で用意した金魚をタライに入れて、金魚すくいを行いました。タライの中にいる金魚を覗いてお玉でコップの中に沢山入れていました。「おさかなとれたよ」と繰り返しすくって楽しんでいました。最後はお気に入りの金魚を選んでお家に持ち帰りました。今後も子どもたちの興味や関心を持ったことを遊びに取り入れたいとの関わりを楽しめるようにしていきたいと思っています。

(保育教諭 菊地 亜美)



名取みだしのこども園

サンドウィッチ作り

七月二十四日に三歳児クラス・きりん組で食育としてサンドウィッチ作りをしました。初めての三角巾・エプロンに喜び、友だちや保育教諭に「見て！」と嬉しそうに見せていました。自分で着ようと挑戦したり、保育教諭と一緒に着たりすると、気持ちも盛り上がり、楽しみにする気持ちが子どもたちの表情から伺えました。栄養士の話聞き、サンドウィッチ作りが始まります。中身のポテトサラダに使用したきゅうりは、きりん組で育てたものを使ったことで「畑のきゅうり？」と興味を持っていました。また、他の具材(蒸かしたじゃが芋・ハム・マヨネーズ)を「まぜまぜ上手でしょ」などと言いながら、自分で混ぜて作る工程を楽しむ姿が見られました。「お昼寝が終わってから、おやつで食べようね」と伝えると、食べることを楽しみにしながらお昼寝をしました。起きる時間になり「作ったサンドウィッチを食べよう」と伝えると子どもたちの表情が輝き、あっという間に起きて服に着替

える姿がありました。「これ、作ったんだよね」「美味しい」と嬉しそうな声がクラスに響き、野菜が苦手な子どもも「自分で作ったから」と口にするのもできました。自分たちで育てた、自分で作った、という経験が子どもたちの食への興味に繋がっていました。今後も食育活動を通して、様々な食材を口にしたり、食への関心を深めたりしていきたいと思っています。

(保育教諭 菊地 紗羅)



水遊び



八月二日、りす組になって初めてのプール遊びを行いました。水遊びの準備をしている段階から、子どもたちはニコニコしながら窓を眺めたり、ジャンプをしたりして喜ぶ姿がとても可愛らしかったです。実際にプールに入るときには、水にブカブカ浮かぶ玩具やバケツ、ジョウロなどがあり、いつもと違う雰囲気ワクワクする子どもたちでした。水に触れて冷たさを味わったり、すくった水をバケツに流したりする遊びを何度も繰り返し、存分に楽しんでいました。また、友だち同士で「バ

シャバシャ楽しいね」「お魚さんみて」などと言いながら楽しさを共有する姿も見られました。中には水を怖がり泣いてしまう子もいましたが、保育教諭が抱っこをしながら水に入ったり、小さなタライを準備し、そこに少量の水や玩具を入れたりすることで水の感触や冷たさに慣れ、笑顔で遊び始める姿も見られました。夏ならではの雰囲気やクラス全体で楽しめることができ、楽しさと無邪気さにあふれた素敵な時間となりました。今後も、安全に配慮しながら思い出に残る楽しい時間を過ごせるように保育教諭も配慮していきたいと思えます。

(保育教諭 木崎 亜優^{きざき あゆか})



名取あけぼのこども園

七夕誕生会



七月八日、七夕誕生会を行いました。本当であれば、全クラスで七月生まれのお友だちをお祝いする予定でしたが、感染症が出た為、拡大予防として残念ではありましたが、各クラスでのお誕生会となりました。誕生日のお友だちは皆にお祝いしてもらったり、お誕生カードをもらったりし、少し緊張しながらも嬉しそうな表情が見られました。先生たちからのお楽しみでは、七夕の由来についてのパネルシアターと笹飾りの種類や意味についての紹介

をしました。七夕のパネルシアターを始めると、三歳以上児のお友だちから「このお話知ってるよ」という声が聞こえてきたり、三歳未満児のお友だちはパネルに並ぶ星や織姫、彦星を見て興味津々にお話を聞く姿がありました。笹飾りを実際に作り、飾りを見せながら意味を紹介すると、皆集中して聞いていました。そして給食では七夕の形をした人蔘が乗っていたことで、それを見た子どもたちは喜ぶ姿があり、笑顔いっぱいの一日になりました。今後も子どもたち一人一人の笑顔を守り、楽しいと思ってもらえる経験ができるようにしていきたいと思えます。

(保育教諭 齊藤 莉衣^{さいとう りい})



お泊り保育



八月二日、三日に園内にて、五歳児のお泊り保育が行われました。お泊り保育の日が近づくと「あと何回寝たら始まる？」と期待を持って過ごす姿が見られていました。当日は朝からとても嬉しそうな表情が見られ、誰一人泣くことなく、笑顔で保護者の方に「ばいばい」と手を振ることができました。子どもたちが楽しみにしていた宝探しは、五つのグループに分かれて行いました。ヒントが書かれた二枚の紙を友だちと一緒に見て「こっちだと思っ！」と自分の意見を伝えたり、友だちが困っている姿に気付いて助け合ったりとたくさんの成長が見られました。全員で協力して宝を見つけることができ、喜びと達成感を味わうことができました。夕食はらいおん組さんがみんなで考えたお祭りメニューでした。包丁で焼きそばの具材を切ったり、マッシュマロにチョコをかけて、カラースプレーをトッピングしたりと思いに楽しんで姿が見られていました。夕食はとても美味しかったようで、何度もおかわりをする姿も見られていました。お泊り保育を通して、友だちと一

つこのことに取り組み楽しさに気付いたり、楽しかったことを友だちや保育教諭と共有する嬉しさを味わったりと、たくさんの思い出を作ることができました。更に友だちとの仲が深まったらいおん組の子どもたちが様々な行事や活動を楽しめるようにしていきたいと思えます。
 (保育教諭 沼田 菜々夏)



プール納会



九月二十六日に、プール納会が行われました。三歳未満児は一歳児のお部屋で、三歳以上児は二階園庭で夏の思い出を振り返りました。三歳未満児は「みずあそびをたのしんだでしょう」の賞状をもらった後、カラーボールの中に保育教諭がジュースを忍ばせて、探し出すゲームをしました。沢山のボールの中からジュースを見つけると「あったよ！」と大喜びで知らせられる姿が見られました。三歳以上児は、二階園庭に集まり、プールでの約束事をきちんと守れたかを振り返ったり、



楽しかった思い出を友だちと共有したりしました。そして、夏を感じながら全員でジュースを飲みました。友だちと一緒に乾杯をしてジュースを味わったり、今日でプールが最後だということを残念がる姿も見られたりしました。そして、締めはプールに足だけ入水し、今年の夏最後のプールで水を感じることもできました。「冷たい？」と聞くと「ぬるい！」という声もあり、笑いに包まれたプール納会となりました。今後も、子どもたちの興味関心を引き出しながら、主体的に参加できる活動を沢山取り入れていきたいと思えます。
 (保育教諭 佐々木 とわの)



仙萩苑

夏祭り



七月二十一日、仙萩苑にて夏祭りが開催されました。今年のテーマは「東北の夏祭り」。宮城県の仙台七夕、秋田県の竿燈まつりなど、東北六県を代表する夏祭りをテーマに飾り付けを準備し、入居者の皆様をお迎えいたしました。縁日会場では射的やくじ引きを楽しんでもらいました。的に命中すると大きな歓声が聞こえてきました。お食事会では、なんと山村部長より焼きソバや焼き鳥などのお料理を振る舞っていただきました。絶品とも言える料理に「もう一杯!」との声。おかわりを注文する人が続出しました。今年の夏祭り、心もお腹も満足していただけました。これからも季節の感じられる行事を入居者の皆様にお届けしていきたいです。(生活支援員 吉本 美雪)



賀寿の会



九月十五日、長寿のお祝いとして賀寿の会を開催しました。今年も古希から卒寿まで九名の入居者様の記念日となりました。当日は記念品や昼食にお寿司を用意し、スタッフと入居者でお祝いをしました。家族からのお手紙が読み上げられると、日頃の感謝と健康を願う気持ちが綴られており、会場はとても和やかな雰囲気になりました。祝いの年の皆様、おめでとうございます。これからも楽しく健康で過ごせるよう、生活支援に努めていきます。(生活支援員 岸野 健太)



一寿園

健康診断



今年度から一寿園の健康診断が変わりました。ここ数年は検診車が施設に
来て、健康診断を受けていましたが、
今回からは若林区のサンピア仙台健診
クリニックへ出向いて受診することに
なりました。とても近代的で綺麗な施
設で、ここはホテルですか？みたいな
錯覚を覚えました。シャンドリアがぶ
ら下がる受付ロビー、受付のお姉さん
はCAさんみたいな制服姿の専任コン
シェルジュでした。男女別の健診エリ
アで、更衣室にはロッカーもあるので
安心して受診できる環境でした。一人
一つタブレットを渡され「次は○番ま
で行ってください」と音声付きで誘導
案内が画面に流れます。更に待ち時間
にはタブレットで雑誌やゲームを自由
に楽しむことができるんです。今って
こんな画期的なシステムなんです
ねー。すげー。



今までは冬時期の健診だった為、血管
が収縮し採血できない利用者さん続
出、という珍事もありました。今回
は暖かい時期（八月）の受診だったの
でそんなことも起こらず、スムーズに
健診が進みました。落ち着いた雰囲気
の中リラックスして受診でき、利用者
の皆さんにも気に入ってもらえたよう
です。
（職業指導員 渡辺 寿子）



編集後記

年々記録的な酷暑のせいで、秋が後ろ倒しになっている傾向に。朝晩が涼しくなり、どこからか漂ってくる金木犀（キンモクセイ）の香り。街路樹や庭先に広がる甘く濃厚な香りに包まれると「秋が来たなぁ」と感じる方も多いのではないのでしょうか。金木犀と言えば、29年ぶりにあのガムが発売されたようです。若い方はご存じないかと思われませんが、昔、金木犀のガムがあったんですね。風味がまさに金木犀をベースにした華やかな香りの「イブ」という商品。昨今のレトロブームも相まって「昔のものが逆に新しく面白い！」と若い世代の方にも人気のようです。板ガムって所もノスタルジックな気持ちにさせてくれます。気になる方は是非ご賞味あれ！

